

令和6年度国公立大学出願日程が確定しました。

「文部科学省」「大学入試センター」「国立大学協会」の発表により、令和6年度大学入試(今の3年生が受験)の共通テスト日程と、国公立大学の出願日程が6月に確定しました。

今回確定したことをまとめます。大事なことは日程ですが、なぜそうなったのかについて、若干の推測を入れてみました。

○共通テスト本試験	2024年1月13日(土)14日(日):変わらず。今までで一番早い
○追試験 (事情により本試験が受けられなかった人)	2024年 1月27日(土)、28日(日) :センター試験は1週間後だったが、共通テストになってからは2週間後が標準となつたらしい。 会場は2か所(東京と大阪?) 前年度は各都道府県に設置されたが、コロナが5類になったことから、もとの2か所に戻つたらしい。
○国公立大学への出願	2024年 1月22日(月)~2月2日(金) 前期・中期・後期すべてを同時に出願 追試が2週間後になったので、締め切りが1月31日(水)から、2月2日(金)にのびたらしい。

近年はコロナウイルス対応で入試の仕組みがいろいろ動きましたが、本年度からはある程度例年通りに戻るようです。ただ、共通テストの追試が2週間後というのが標準になってくると、国公立大学の出願期間もこのまま後ろにずれこんだままになるかもしれません。このあたりは、1,2年生の受験日程にも関係するかと思います。

大学について調べてみよう 三大地味理系都内国立大の紹介

以下にあげる3つの国立大学は、レベルの割に地方では知名度が低い大学です。なぜ知られていないのでしょうか。

まず、知名度の高い大学がなぜ知られているか考えてみましょう。理由は簡単です。知名度がある大学の多くはスポーツで活躍している大学です。お正月の箱根駅伝なんかに出場していると、全国的に知名度があがりますね。知名度があがれば受験生が増えます。実際、箱根駅伝に優勝したら受験者が増え、受験料だけで数千万円入ってくるそうです。ですので、各大学は知名度をあげるためにも、スポーツに力を入れているのです。もちろん、スポーツ以外でも様々な手段を使って知名度をあげている大学は多いですね。一方、地味な国公立大学は、それほどスポーツ・宣伝などに力を入れておらず(そんなお金あったら研究にまわす)、全国放送で紹介される機会もなく、地方ではあまり知られていません。ところがそんな地味な大学でも、実は世界に伍する研究をしていたり、企業から評価されたりしているところが多いのです。ここで紹介する大学はまさにそんな大学です。ちなみに入試レベルでいうと、旧帝大(&東工大)と静大の間ぐらい。ですが、分野によっては旧帝大クラスの研究をしているところもあります。理系であれば、一度はこれらの大学を検討して、調べてみていいのではないのでしょうか。ちなみに、文系科目でも受験できる学科がありますし、こんな大学あるんだな~と知っていると、何かの役に立つかもしれません。

電気通信大学 電通とは無関係

略称「電通大」。なかなか知名度が低い大学で、名前からして私立大学だと思われがち。略称から、企業の「電通」と関係があると思われたり、東京電機大学(私立大学)と間違えられたり、まったく関係のない大阪電気通信大学(私立大学)とのつながりを聞かれたりというのはもはや定番。ちなみに名前に地名がつかない国立大学としては現在唯一だということです。公立大学でも地名がつかない大学は、**国際教養大学**(All Englishの超おすすめ文系大学/秋田県立)とか名桜大学(沖縄県立)ぐらいしかありません。ちなみに電気通信大学に地名が付かないのは「日本全国に開かれた大学を造る」という理念からだそうです。

さて、この**電気通信大学**は、1918(大正7)年に無線通信技術者の養成機関として創設された**社団法人電信協会管理無線電信講習所**を起源としています。なお、1949年に新制大学になる際、「電波大学」という大学名にするつもりだったようですが、それだと内容が限定されてしまうということで、「電気通信大学」としたそうです。今から考えると、良い判断だったと思います。まあ、実際のところどっちにしたところであまり知名度には影響はなかったかもしれません。

と、名前のことばかり気になりますが、中身は本当にすごい大学です。情報理工学部のみ単科大学ですが、いわゆるICT関係の研究に関してはトップレベルの大学です。情報工学関係のことをやりたくて、就職先もそういう方面を目指しているのであれば、かなりおすすめの良い大学と言えます。学内ベンチャーの起業などもやりやすい環境のようです。

東京農工大学 農大・工大ではなく農工大

これまた知名度が、東京農業大学(私立)、**東京工業大学**(国立:こっちは旧帝大レベル。さすがに知ってますね)に完敗しており、誤解されがちな大学。ですが、実はかなり歴史が古い。もともとは1874年に設立された**農事修学場**と、**蚕業試験掛**の二つの学問所をルーツとしています。これらの学問所の設立が1874年ですので、来年度は**創基150周年**(と、HP に書いてある)ということで、これまた地味に盛り上がっているようです。さて、この2つの学問所がそれぞれ別々の経緯(一時期東京帝国大学に組み込まれたり)を経て発展していきます。戦後、1949年に2つの学校が統合され、**農学部**と、**繊維学部**という2つの学部からなる東京農工大学として発足しました。農工大繊維学部は、以前紹介した**信州大学繊維学部**と、**京都工芸繊維大学繊維学部**(現在は**工芸科学部**に統合)と並び、三織大学と呼ばれていたこともあります。1962年には繊維学部が**工学部**に改変され、現在は農学部と工学部の2学部からなる大学になっています。

農学部には生物系・環境系の学科があり、実習が充実。獣医の養成学科もあります。工学部はバイオ系・材料系・機械系。どちらの学部も、**他の理系大学に比べて女子率が高い**と言われています。また、**教員1人当たりの学生数が少ない**こと、また**教員1人当たりの研究費が多い**(特に外部団体・企業からの資金が多いらしい)ことから、充実した教育を受けられるといわれています。本当かどうかはよくわかりませんが、学生による「**大学が好き**」ランキングでは常に上位に来るようです。

本当に目立たない大学ですが、日本でも屈指の歴史を誇る、実学に特化した大学であり、生活しやすい環境、研究・就職ともに信頼できるという、非常にいい大学だといえます。

東京海洋大学 海に関しては唯一無二・文系からも進学できる

東京海洋大学は、2003年に開学した、比較的新しい大学で、やはり知名度が低い。ですが東京海洋大学は、**東京商船大学**と、**東京水産大学**という共に100年以上の歴史をもつが統合してできた、実は名門の大学です。

東京商船大学は、1875年に設立された**三菱商船学校**(大久保利通が岩崎弥太郎に作らせた)をルーツとしています。商船学校の目的は、外洋で大型の商船を運用するための、航海士と、機関士の養成でした。大正期には「**東京高等商船学校**」となります。ちなみに「**高等商船学校**」は、東京以外には神戸と、のちに清水市(当時)に設置されました。戦後に「**高等商船学校**」が再編統合されて国立「**商船大学**」になります。何と、実は1949年から1957年にかけて、この「**商船大学**」は清水市にありました(東京は分校)。1957年に商船大学は東京に移転することになり、「**東京商船大学**」と名称が変わってしまいます。短期間ではありますが、静岡にはかつてもう1つ国立大学があったことになりすね。そんな東京商船大学ですが、貿易立国である日本にとっては、超重要な大学であり、外洋航路の高級船舶職員を養成してきました。

一方、**東京水産大学**は、1888年に設立された「**大日本水産会水産伝習所**」をルーツとしており、いわゆる水産業(メインは魚ですが、その他海の生物・漁村文化まで研究対象)に関する研究を行ってきた大学です。ちなみに、一時期話題になった「**ざんねんないきもの事典**」の著者で、動物学者の今泉忠明は東京水産大学の出身です。

この2つの大学が2003年に統合してできたのが**東京海洋大学**です。なかなか知名度が低い大学ではありますが、この「**海**」に関する研究に関しては、他に類を見ないレベルの高さであることは間違いありません。海洋生物から、海洋資源、船舶の構造、船舶の運用、さらに物流まで、研究対象は様々です。最近だと**さかなクン**が**客員教授**にいることも話題になりました。たまに国公立大学を私立大と比較するというネタ(知恵袋「**〇〇大学は△△大学よりもレベルは上ですか?**」とかいう意味不明な質問)がありますが、海洋大は唯一無二、特殊すぎて比較対象がなく、そんな話題にもなりません。基本的に理系の大学なので、なかなか文系からは進学しにくい大学ですが、**海洋政策学部海洋政策文化学科**(海に関わりたい文系の人や、理系だけど大学では文系の勉強をしたい人向け)と**海洋工学部流通情報工学科**(物流メイン)は**文系からでも受験可能です**。

就職先については、商船大学からの伝統があること、きちんと実学を学べることから、商社を中心にほとんど苦勞することがありません。海に関する資格も取れます。一生海に関わりたい人にとっては、これ以上ない大学であることは間違いありません。

ちなみに、同じような系統として、**神戸大学海洋政策科学部**があります。こちらは前述の「**神戸商船大学**」の流れを引き継いでいます。2021年に「**海事科学部**」から、「**海洋政策科学部**」という名称になりました。やはり理系の学部ではありますが、**文系科目で受験できる枠**があります。

夏休みに向けて

期末テストも終わり、夏休みが近づいてきました。3年生はここからいよいよ受験勉強の山場がやってきます。体調・ペースに気をつけてこの夏を乗り切りましょう。1,2年生は夏休みにオープンキャンパス等に積極的に参加してください。オンラインもありますが、一度足を運ぶのがいいですよ。できれば1校だけではなく、2校、3校と見ておくと、比較ができるのでおすすめです。